

《眼の副作用を生じやすい抗がん剤について》 一覧表を示します

抗がん剤の副作用に関する記載をみると、ほとんどの薬において「結膜炎」や「角膜炎」などの症状があります。この中でお知らせする薬は、2017年11月までに症例報告があった薬と当院の現状の中から、治療に使われる頻度等を考慮して選択しました。その一覧を以下に示します。



■殺細胞性の抗がん剤

殺細胞性の抗がん剤とは・・・細胞が分裂して増える過程に作用する抗がん剤。細胞増殖の盛んな細胞を障害します。

一般名※	商品名※	眼に関する副作用	対象となるがんの種類
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム	ティーエスワン* (TS-1)	流涙(涙道障害) 視力低下、眼痛、羞明(角膜炎、角膜潰瘍、角膜びらん)	胃がん、大腸がん、非小細胞肺癌ん、乳がん、頭頸部がん、すい臓がん、胆道がん
フルオロウラシル	5-FU フルオロウラシル(注)	流涙(涙道障害) 視力低下、眼痛、羞明(角膜炎、角膜潰瘍、角膜びらん)	胃がん、肝臓がん、すい臓がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、など
シタラビン	キロサイド シタラビン スタラシド	眼が赤くなる、目ヤニがでる、など(結膜炎)	急性白血病、膀胱腫瘍、成人急性非リンパ性白血病、骨髄異形成症候群
タモキシフェン	ノルバデックス タモキシフェン	視力低下、変視症	乳がん

*他に多数の後発品があります

一般名※	商品名※	眼に関する副作用	対象となるがんの種類
トレミフェン	トレミフェン フェアストン	視覚障害	乳がん
パクリタキセル	タキソール パクリタキセル	視力低下、変視 症、小視症、流涙 (涙道障害)、など	非小細胞肺がん、 乳がん、卵巣がん、 子宮体がん、子宮 頸がん、胃がん、食 道がん、頭頸部が ん、精巣腫瘍、など
パクリタキセル (アルブミン懸濁 型)	アブラキサン	視力低下(角膜 炎、結膜炎、黄斑 浮腫)	乳がん、胃がん、非 小細胞肺がん、 すい臓がん
ドセタキセル	タキソテール ドセタキセル ワンタキソテ ール	視力低下、変視 症、小視症、流涙 (涙道障害)、など	非小細胞肺がん、 乳がん、卵巣がん、 子宮体がん、前立腺 がん、頭頸部がん、 食道がん、胃がん
シスプラチン	シスプラチン ランダ	視力低下、視野障 害(球後視神経 炎)	肺がん、消化器が ん、婦人科がん、泌 尿器系のがん、頭 頸部がん、など
テモゾロミド	テモダール テモゾロミド	霧視、眼瞼炎	悪性神経膠腫
カペシタビン	ゼローダ カペシタビン	結膜炎、角膜炎、 流涙増加、など	乳がん、胃がん、大 腸がん

※薬の一般名と商品名

「一般名」とは薬の有効成分を示す名前です。これに対して「商品名」とは製薬企業が医薬品を販売するためにつけた名前です。



■ 分子標的型の抗がん剤

分子標的型の抗がん剤とは・・・がん細胞に存在する特殊な物質をピンポイントで攻撃する抗がん剤。

一般名※	商品名※	眼に関する副作用	対象となるがんの種類
ゲフィチニブ	イレッサ ゲフィチニブ	睫毛の長生化、睫毛乱生	非小細胞肺癌
エルロチニブ	タルセバ	睫毛の長生化、睫毛乱生	非小細胞肺癌、すい臓がん
セツキシマブ	アービタックス	睫毛の長生化、睫毛乱生	大腸がん、頭頸部がん
クリゾチニブ	ザーコリ	視力低下 羞明	非小細胞肺癌
アフアチニブ	ジオトリフ	結膜炎、かすみ目、など	非小細胞肺癌
セリチニブ	ジカディア	視力障害、かすみ目、光視症、など	非小細胞肺癌
オシメルチニブ	タグリッソ	角膜障害	非小細胞肺癌
ダコミチニブ	ビジンプロ	結膜炎、かすみ目、眼乾燥、角膜炎、など	非小細胞肺癌
ロルラチニブ	ローブレナ	視覚障害	非小細胞肺癌
イキサゾミブ	ニンラーロ	かすみ目、視力低下(白内障)、など	多発性骨髄腫
カルフィルゾミブ	カイプロリス	かすみ目、視力低下(白内障)、など	多発性骨髄腫
エロツズマブ	エムプリシティ	かすみ目、視力低下(白内障)	多発性骨髄腫
イブルチニブ	イムブルピカ	かすみ目、眼乾燥、視力低下、など	慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)、マントル細胞リンパ腫

一般名※	商品名※	眼に関する副作用	対象となるがんの種類
ポナチニブ	アイクルシグ	眼乾燥、かすみ目、 眼痛、など	慢性骨髄性白血病 フィラデルフィア染 色体陽性急性リン パ性白血病
ギルテリチニブフ マル	ゾスパタ	羞明、眼乾燥、視力 低下、など	急性骨髄性白血病
ベムラフェニブ	ゼルボラフ	ぶどう膜炎、網膜静 脈閉塞、など	悪性黒色腫 (メラノーマ)
ダブラフェニブ	タフィンラー	ぶどう膜炎、網膜静 脈閉塞、網膜剥離、 など	悪性黒色腫(メラノ ーマ)、非小細胞肺 がん
トラメチニブ	メキニスト	ぶどう膜炎、網膜静 脈閉塞、網膜剥離、 など	悪性黒色腫(メラノ ーマ)、非小細胞肺 がん
エンコラフェニブ	ビラフトビ	網膜障害、ぶどう膜 炎、視力低下、かす み目、など	悪性黒色腫 (メラノーマ)
ビニメチニブ	メクトビ	網膜障害、ぶどう膜 炎、視力低下、かす み目、など	悪性黒色腫 (メラノーマ)
トラスツズマブ	ハーセプチン トラスツズマブ	流涙増加、結膜炎、 視力障害	乳がん、胃がん
トラスツズマブ エムタンシン	カドサイラ	視力障害、流涙増 加、結膜炎、眼乾燥	乳がん
パルボシクリブ	イブランス	流涙増加、霧視、眼 乾燥	乳がん
アベマシクリブ	ページニオ	流涙増加、眼乾燥	乳がん
フォロデシン	ムンデシン	眼精疲労、結膜炎、 など	末梢性 T 細胞リン パ腫

一般名※	商品名※	眼に関する副作用	対象となるがんの種類
オビヌツズマブ	ガザイバ	眼充血、結膜炎	ろ胞性リンパ腫
ブリナツモマブ	ビーリンサイト	眼痛、光視症、羞明、視力障害、など	B細胞性急性リンパ性白血病
エヌトレクチニブ	ロズリートレク	かすみ目、羞明	NTRK 融合遺伝子陽性の進行・再発の固形がん、ROS1 融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌



■ ホルモン療法薬

ホルモン療法薬とは・・・体内の特定のホルモンの影響を受けて増殖する性質のがんに対して使用する薬。

一般名※	商品名※	眼に関する副作用	対象となるがんの種類
エンザルタミド	イクスタンジ	流涙増加	前立腺がん

※薬の一般名と商品名

「一般名」とは薬の有効成分を示す名前です。これに対して「商品名」とは製薬企業が医薬品を販売するためにつけた名前です。



■免疫治療薬

免疫治療薬とは・・・自分の免疫細胞が、がん細胞を排除しようとする働きを助ける薬。

一般名※	商品名※	眼に関する副作用	対象となるがんの種類
ニボルマブ	オプジーボ	ぶどう膜炎	悪性黒色腫(メラノーマ)、非小細胞肺癌、腎細胞がん、頭頸部がん、胃がん、古典的ホジキンリンパ腫、悪性胸膜中皮腫
イピリムマブ	ヤーボイ	ぶどう膜炎、虹彩毛様体炎、など	悪性黒色腫(メラノーマ)、腎細胞がん
ペムブロリズマブ	キイトルーダ	ぶどう膜炎	悪性黒色腫(メラノーマ)、非小細胞肺癌、古典的ホジキンリンパ腫、尿路上皮がん、高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する固形がん、腎細胞がん、頭頸部がん
アベルマブ	バベンチオ	眼痛、眼掻痒症、流涙増加、霧視、など	メルケル細胞がん、腎細胞がん
アテゾリズマブ	テセントリク	眼乾燥	非小細胞肺癌、小細胞肺癌、乳がん

※薬の一般名と商品名

「一般名」とは薬の有効成分を示す名前です。これに対して「商品名」とは製薬企業が医薬品を販売するためにつけた名前です。